



Life Care Corporation Digital Brochure

災害復旧・特殊清掃・環境分析

# 現場の異常を、 科学で証明する。

臭気・VOC・油汚染・火災臭・カビを、測定値・分析結果・  
写真記録・報告書で「見える化」します。

VOC測定

油汚染

火災臭

カビ分析

## 株式会社ライフケアコーポレーション

環境分析技術センター | VOC / GC-MS / FTIR / Mold Analysis

FIELD MEASUREMENT × LAB ANALYSIS

測定・分析・施工・報告まで



見えない汚染を、測定・分析・施工で可視化する

## 会社の内容が一目でわかる、6つの対応領域。

現場で発生する「原因不明」「説明しにくい」「保険会社に伝わりにくい」問題を、調査と資料化まで含めて対応します。

### 灯油・油汚染

01

土壌、床下、基礎周辺、建材への移行を確認し、撤去・吸着・VOC除去まで対応。

### 火災臭・煙損

02

すす、タール、VOC、建材残留を整理し、表面清掃だけで終わらせない復旧を実施。

### VOC・臭気測定

03

室内空気、床下、建材周辺を測定し、施工前後の変化を数値で確認。

### カビ調査・対策

04

採取、顕微鏡確認、発生原因の整理、再発防止まで一連で対応。

### 環境分析

05

GC-MS、FTIR、検知管、臭気計、顕微鏡を組み合わせ、原因特定に近づける。

### 報告書作成

06

写真、測定値、平面図、比較表、工程を整理し、第三者へ説明できる資料にする。

現場会社であり、分析・報告まで行うからできること

# 「測るだけ」「工事するだけ」で終わらせない。

現場状況を理解したうえで測定し、測定結果を施工範囲・復旧工程・完了判断へつなげます。



### 現場目線

壁内、床下、基礎、換気条件など、数値だけでは見えない条件を確認。

### 分析目線

原因物質、移行経路、未汚染部との比較を整理。

### 施工目線

撤去、洗浄、薬剤、吸着、オゾン、封じ込めの必要性を判断。

### 説明目線

保険会社・管理会社・行政へ伝わる報告書にまとめる。

# 経験と感覚に、測定・分析という根拠を加える。

消臭や復旧の効果を「作業した」だけで終わらせず、施工前後の比較・原因の整理・完了判断に使える情報へ変換します。

### GC-MS / GC

VOCや石油系成分など、原因推定・複合臭の切り分けに活用。

### FTIR / 赤外分光

クロス、石膏ボード、合板などの表面付着・油分確認に活用。

### 顕微鏡 / カビ

孢子、菌糸、付着物を確認し、清掃・撤去範囲の判断材料にする。

### VOC・検知管

室内空気、床下、土壌ガス、建材周辺を現場で反復確認。

### 臭気評価

臭気計、臭気強度、現場条件を合わせ、生活復帰の説明材料にする。

### 報告書化

測定条件、写真、平面図、比較表、判断根拠を一冊に整理。

# 測定は「工事の必要性」と「復旧完了」を説明する土台です。

どの場所で、どの条件で、どの数値が出たかを記録し、施工範囲と再検査の判断につなげます。

### VOC測定イメージ



### 測定対象

室内空気、床下、土壌ガス、建材  
周辺、汚染源近傍、未汚染部との  
比較。

### 記録項目

測定日時、測定者、温度湿度、換  
気条件、測定点ID、表示値の写真  
。

### 判断方法

施工前後の比較、複数機器の併用  
、臭気戻り・再放散リスクの確認  
。

### 資料化

平面図、写真台帳、測定ログ、比  
較表として整理し、第三者へ説明  
。

### 測定値だけでなく、測定条件まで残す

同じ数値でも、換気・温度・湿度・測定位置で意味が変わるため、条件を含め  
て報告書化します。

500L漏洩時の土壌拡散イメージを、視覚的に説明する

## 屋外ホームタンクからの漏洩は、地中で横方向へ広がる可能性があります。

灯油漏洩・土壌拡散イメージ

### 屋外ホームタンクからの灯油漏洩

#### 500ℓ漏洩が土壌中で20~30m広がる

**屋外ホームタンク**  
灯油タンク  
(満タン時 約500ℓ)

タンク下・配管継手から少量ずつ漏洩

漏洩した灯油が土の中へ浸透

毛細管現象により広範囲に拡散  
土壌中で20~30m以上広がる

20~30m

室内の空気検査  
ベンゼン 40ppm  
(基準の約2万倍)

漏洩箇所(タンク下)

雨水樹

公共雨水樹  
(約20m離れた場所)

- 土壌中で長期間残留
- 雨水・地下水へ影響
- 室内へ揮発・再放散
- 臭気・健康被害の原因

土壌検査の実施

ボーリング調査・土壌ガス検査  
TPH・VOC分析を実施

毛細管現象のイメージ (土の中で広がる仕組み)

微細な隙間に灯油が染み込み、水平方向にも拡散していく

建物内部への影響

基礎の隙間・配管・床下を通じて室内へ揮発 (VOC)

漏洩が広がる経路 (例)

20~30m

※上図は説明用イメージです。実際の拡散範囲は、土質、含水率、地下水位、漏洩量、経過時間、基礎・配管・雨水経路により変動します。

# 表面清掃だけでは、臭い戻りが起きることがある。

すす、タール状成分、VOCがクロス・石膏ボード・木部・空調経路へ入り込むと、温度上昇や換気条件で再放散します。

### 汚染範囲の把握

煙の流入経路、天井裏、空調、隣室、倉庫、建材表面を確認。

### 化学物質として評価

臭気計だけでなく、VOC・検知管・必要に応じた成分分析を併用。

### 除去・酸化分解

洗浄、表面処理、オゾン酸化、吸着、建材撤去の必要性を判断。

### 再放散確認

作業後に測定し、臭い戻りや室内滞留のリスクを確認。

復旧品質を決めるのは、作業後の「見た目」だけではありません。

火災臭は室温・湿度・換気条件で再発しやすいため、作業前後の測定、建材への浸透確認、必要な撤去範囲の整理が重要です。

カビの有無だけでなく、発生原因と再発条件を整理する

# カビは「見た目」だけでは判断できません。

採取・顕微鏡確認・原因整理・再発防止をセットで行い、清掃だけで終わらない対策にします。

### 1 採取

テープリフト、スワブ、付着物採取。採取位置と写真を記録。

### 2 顕微鏡確認

孢子・菌糸・付着物の有無を確認し、見える資料にする。

### 3 原因整理

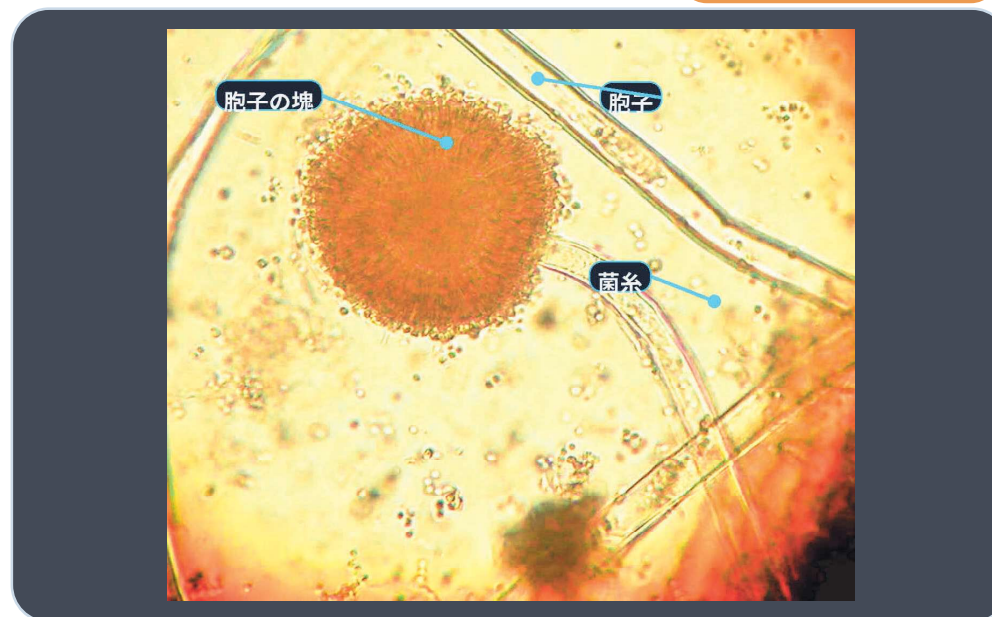
漏水、結露、断熱欠損、換気不足、床下湿気を確認。

### 4 対策

除去清掃、防カビ処理、乾燥、換気改善、必要に応じた建材撤去

## カビを顕微鏡で拡大した実写写真

孢子・菌糸が見える



孢子的塊・菌糸・付着孢子が一目で分かる写真にし、調査結果の説明に使用します。

Photo: ATLAS MICOLOGIA / ASPERGILLUS - MICROSCOPIA / Rui Tome

第三者が確認できる形で、工事の必要性を説明する

# 「なぜその工事が必要か」を、資料で説明する。

現場写真だけでなく、測定値・平面図・比較表・工程を組み合わせ、判断者が追える報告書にします。

### 測定点平面図

測定箇所ID、測定値、採取深度、写真番号を図面上で整理。

### 測定原票・ログ

日時、測定者、機器、温湿度、換気条件、測定前後の状態を記録。

### 写真台帳

被害箇所、機器表示、作業状況、採取状況、完了状況を時系列で整理。

### 比較表

汚染部と未汚染部、施工前と施工後、室内と床下などを比較。

### 判断根拠

化学物質、建材浸透、再放散、健康影響、生活復帰可否を説明。

### 工程・費用説明

調査、養生、撤去、除去、再検査、報告書作成までの工程を明示。

報告書は、単なる作業完了書ではなく、工事の必要性・範囲・完了判断を支える資料として作成します。

# 複雑な現場ほど、工程を見える化します。

調査、測定、施工、再検査、報告書作成の流れを明確にし、関係者へ説明しやすい形にします。

### 01 お問い合わせ

事故内容、発生日、被害箇所、保険・管理会社  
対応の有無を確認。

### 02 現地確認

臭気、VOC、漏洩経路、建材状態、床下・外部  
への広がりを確認。

### 03 測定・採取

空気、土壌、建材、カビ等の測定・サンプル採  
取。

### 04 施工計画

撤去、洗浄、薬剤処理、吸着、オゾン、封じ込  
めの範囲を設計。

### 05 復旧作業

養生、安全管理、除去工事、VOC/炭化水素除去  
、清掃・復旧。

### 06 再検査・報告

施工後測定、写真台帳、測定値比較、完了報告  
書を作成。

現場ごとのバラつきを抑え、記録に残る作業へ

# 品質は、機器だけではなく「記録」と「手順」で決まる。

測定機器、採取方法、作業者の安全、写真記録、再検査のタイミングを標準化し、説明可能な現場対応を行います。

### 測定品質

機器名、測定条件、表示値、測定点IDを記録。

### サンプル管理

採取場所、採取深度、容器、日時、写真を紐づけ。

### 安全管理

PPE、換気、有害作業時の休憩、立入制限、養生範囲を明確化。

### 工程管理

撤去、除去、薬剤、オゾン、再検査を工程表に反映。

### 報告品質

写真・数値・図面・判断根拠を社外説明に使える形へ。

### 継続改善

現場ごとの測定結果を蓄積し、次の判断精度を高める。

# 11 完了確認・再発防止

復旧後の状態を確認し、引き渡し後のリスクを下げる

## 終わりは「作業完了」ではなく、再測定と説明です。

施工後の数値、臭気、建材状態、再放散リスクを確認し、必要に応じて追加処置を判断します。

### 臭気の確認

臭気計や臭気強度を用いて、生活復帰に支障がない範囲まで低減しているか確認。

### VOCの確認

VOC計・検知管などで、施工前後の変化と残留傾向を確認。

### 建材・床下の確認

クロス、石膏ボード、床下、基礎周辺の残留・再放散リスクを確認。

### 再発防止

漏洩経路、湿気、換気、建材含水、封じ込めの必要性を整理。

測定・写真・工程を残すことで、引き渡し後の説明にも対応できます。

数値が下がった理由、残ったリスク、追加工事が不要と判断した理由を記録し、関係者が後から確認できる形にします。

# 原因が見えない現場ほど、早い段階の測定が重要です。

臭気やVOCは、時間経過・換気・温度変化で状態が変わるため、初期記録が復旧判断の重要な資料になります。

### 住宅・賃貸物件

灯油漏洩、火災臭、カビ、孤独死後の臭気・衛生管理、床下汚染。

### 法人・店舗

煙損、異臭クレーム、VOC残留、原状回復、営業再開前の確認。

### 工場・倉庫

油分、薬品臭、カビ、設備由来臭、保管物への臭気移行。

### 管理会社・保険対応

事故報告、見積根拠、鑑定対応、施工範囲の説明資料作成。

### 行政・近隣対応

漏洩範囲、雨水桝、周辺環境への影響確認、記録整理。

### 原因不明臭

生活臭、建材臭、油臭、煙臭、カビ臭などの切り分け。



# 株式会社ライフケアコーポレーション

災害復旧・特殊清掃・環境調査・環境分析

現場の困りごとを、感覚ではなく、測定・分析・施工・報告で解決する。  
北海道を中心に、火災復旧、灯油漏洩、VOC除去、カビ調査、保険説明資料まで一体で対応します。

## 対応領域

特殊清掃 / 火災復旧 / 灯油漏洩 / VOC・  
臭気測定 / カビ分析 / 防鼠

## 分析体制

環境分析技術センター / GC-MS / FTIR /  
顕微鏡 / VOC測定 / 報告書作成

## 拠点

本社・北野支店・帯広支店・函館支店